

# 親子聖書日課

NO.1887 2024.11/24-30

名前

[日]コヘレトとは、集会を司る説教者の意味です。この書は、人生とは空しく、何の益もないと説きます。しかし、それは主に会おうまでの人生です。主に会った時、どんな境遇でも、生まれてきてよかったと感謝でき、有意義な人生に変わります。

[月]人間の快樂は、その時は時間も忘れるほど楽しいものです。しかし、その後に残るものは、空しさです。永遠の楽しみは、快樂ではなく、主との交わりによって生きる時に与えられます。ですから、聖書日課や礼拝・祈禱会を大切にしましょう。

[火]この苦しみさえなければどれほど幸せか、と思うことはありませんか。しかし、主は全ての時を定めておられるのです。無駄な時は、一つもありません。「神のなされることは、時に適って美しい」のです。ですから、全ての事に感謝しましょう。

[水]主を信じる人は、一人であっても、独りぼっちではありません。主と信仰の友が ついているので、「3つよりの糸」のように、ぶつ切り切れません。友を得るためには、御言葉と祈りで交わる事です。倒れても、助け起こされるのが、礼拝・祈り会です。

[木]口数が多い時は、弁解している時です。一生懸命、自己正当化します。神は弁解など聞きたくありません。「言葉数を少なくせよ」沈黙して、主の御声を聴くことです。なぜなら、私達の心を全てご存知の主が、慰めの言葉を与えて下さいます。

[金]「自分よりも強いもの」とは、死です。死は一瞬にして、人を土の塵にする恐るべき最後の敵です。しかし、安心して下さい。主イエスは復活してその死に勝利して下さいました。主を信じるなら、「短く、空しい人生の日々」ではありません。

[土]人生には良い時も悪い時もあります。「順境には楽しみ、逆境にはこう考えよ」とは、良い時には幸いを主に感謝し、悪い時には自分の生き方が御心に適っていたか、悔い改めることです。全ては主の御手にあります。御声を聴きましょう。



	聖書	問題	答え
日	コヘレト 1:1-18	太陽の下、新しいものはありますか。	
月	2:1-26	「快樂を追ってみよう」見よ、それすらもどんなだったですか。	
火	3:1-22	天の下の出来事にはすべてどんな時がありますか。	
水	4:1-17	倒れれば、ひとりがその友をどうしますか。	
木	5:1-19	言葉数をどうする必要がありますか。	
金	6:1-12	自分よりもどんなものを訴えることはできませんか。	
土	7:1-29	順境には楽しみ、逆境にはどうすべきですか。	
	感想と祈りの課題		